1か

初代教会があらかじめ持った契約

使 1:1～8　テオピロよ。私は前の書で、イエスが行ない始め、教え始められたすべてのことについて書き、お選びになった使徒たちに聖霊によって命じてから、天に上げられた日のことにまで及びました。イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」そこで、彼らは、いっしょに集まったとき、イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」イエスは言われた。「いつとか、どんなときとかいうことは、あなたがたは知らなくてもよいのです。それは、父がご自分の権威をもってお定めになっています。しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

1. キリストの奥義を持っていました（カルバリの丘、使 1:1）

1）イエス・キリストは、神様がくださった契約です（創 3:15、6:14、出 3:18、イザ 7:14、マタ 16:16）

2）キリストが十字架であがないのいけにえとなって死んでくださり、根本問題を解決してくださいました（ヨハ 19:30）

3）よみがえられたキリストは、いま、私とともにおられ、私を世界福音化の証人にしてくださいます（マタ 28:16～20、マコ 16:15～20）

2. 神の国の答えの座にいます（オリーブ山、使 1:3）

1）女の子孫として来られたキリストが、悪魔のしわざを打ちこわしてくださいました（創 3:15、Ⅰヨハ 3:8）

2）キリストは、福音が宣べ伝えられるところで、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けてくださいました（マタ 12:1～45、ルカ 10:19）

3）助け主聖霊とおしてともにおられ、真理の御霊で導いてくださいます（ヨハ 14:1～27）

3. 聖霊の力で全世界237か国の空いたところを生かすことがはじまりました（マルコの屋上の間、使 1:8）

1）聖書の Remnant7人（ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ）がこの力を持っていました

2）預言者ヨエルをとおして預言された約束です（ヨエ 2:28）

3）ただ主なる神様の霊によってだけできます（ゼカ 4:6）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

04

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

2か

初代教会があらかじめ持った時刻表

使 1:14　この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

1. 24時の奥義を持って、集中の時刻表を持ちました

1）キリスト、神の国、世界福音化の座にいました（使 1:1、3、8）
2）このミッションを持って、ただ祈りに専念しました（使 1:14）
3）五旬節の日になって聖霊の満たしの働きが臨みました（使 2:1～4）

2. 25時の答えの座に入っていく時刻表がありました

1）１５か国のユダヤ人たちがエルサレムに集まって、神様のみことばを聞きました（使 2:5～13）
2）預言者ヨエルが預言していたみことばが成就しました（使 2:17～18）
3）使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていました（使 2:41～42）

3. 永遠の祝福が臨む時刻表でした

1）だれも見ない空いた所に福音が伝えられました（使 3:1～12）
2）だれも行かない空いた所に福音が伝えられました（使 8:4～8）
3）ステパノのことから起こった迫害によって、アンテオケ教会が誕生しました（使 11:19～30）
4）アンテオケ教会を通してはじめての宣教師が派遣されました（使 13:1～4）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

11

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば

3か　ユダヤ人が逃したことを持った初代教会

使 11:19　さて、ステパノのことから起こった迫害によって散らされた人々は、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人以外の者にはだれにも、みことばを語らなかった。

1. ユダヤ人は宣教を逃しました

1）宣教を逃したユダヤ人は奴隷になりました
2）宣教を逃したユダヤ人は捕虜になりました
3）宣教を逃したユダヤ人は属国にまでなりました

2. 初代教会を通して宣教が回復しました

1）１５か国から来た人々がエルサレムに集まって福音を聞きました（使 2:9～11）
2）ピリポ執事を通してエチオピアの宦官に正確な福音が伝えられました（使 8:26～40）
3）ペテロを通してイタリヤ隊の百人隊長コルネリオが福音を受けました（使 10:1～45）
4）ステパノのことから起こった迫害によって、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまで福音が伝わりました（使 11:19）
5）アンテオケ教会がたちました（使 13:1）

3. 初代教会は全世界237か国を回復しました

1）アンテオケ教会からはじめての宣教師が派遣されました（使 13:1～4）
2）マケドニヤ地方の第一の町に行く宣教の道が開きました（使 16:6～10）
3）ツラノ講堂を通してローマに行く道がはじまりました（使 19:1～7）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

18

聖日（主日）・

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

4か　宗教が逃したことを持った初代教会

使 13:1～4　さて、アンテオケには、そこにある教会に、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、国主ヘロデの乳兄弟マナエン、サウロなどという預言者や教師がいた。彼らが主を礼拝し、断食をしていると、聖霊が、「バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務につかせなさい」と言われた。そこで彼らは、断食と祈りをして、ふたりの上に手を置いてから、送り出した。ふたりは聖霊に遣わされて、セルキヤに下り、そこから船でキプロスに渡った。

1. サタンの戦略があります

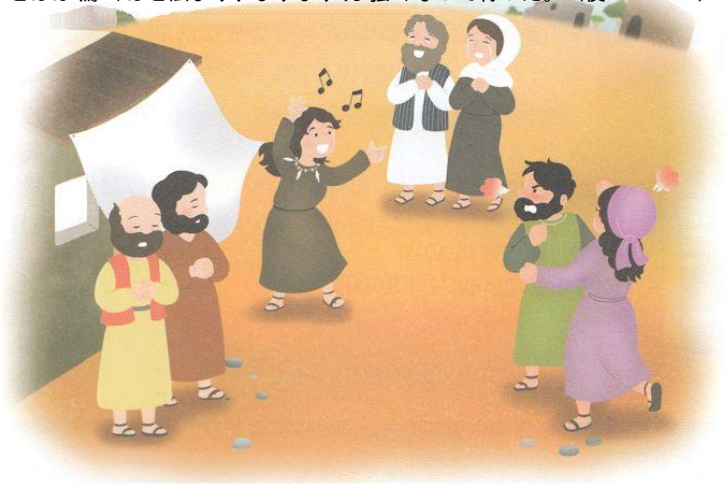
1）創世記3、6、11章の私中心、物質中心、成功中心です
2）偶像化した世の中です
3）病気のゆえに壊れてしまった人々です

2. 宗教が逃したことがあります

1）福音ではない私中心です
2）福音ではない私のこと中心です
3）福音ではない私の成功中心です

3. 初代教会が持った力

1）パウロとバルナバを通して福音が宣べ伝えられたとき、
にせ預言者、魔術師エルマがひざまずきました（使 13:5～12）
2）パウロとシラスを通して福音が宣べ伝えられたとき、
占いの霊につかれた若い女奴隷から、悪霊が離れました（使 16:16～18）
3）エペソで主イエスの御名が宣べ伝えられたとき、魔術を行なっていた者がひざまずきました。
ー主のことばは驚くほど広まり、ますます力強くなって行った。（使 19:8～20）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

25

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば